



チーム出東

出東小学校 令和8年度学校だより NO.6 6月26日号 文責：秦 康人

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



ふるさとを愛する子

本校の学校経営の重点項目の一つは、「ふるさとを愛する子の育成」です。様々な地域の人との交流や関わりを大切にした教育を推進するために、コミュニティセンターや諸団体との連携を図っています。6月に入って、地域の方を講師にお招きしたり、様々な団体との交流活動を行ったりする機会が増えています。本号では、1年生と4年生の学習の様子を紹介します。

地域から学ぶ(1) 1年生 イモ苗植え

6月10日(水)に、1年生は、地域の方に来ていただいて、サツマイモの苗植えをしました。子どもたちは、秋に収穫できることを楽しみにしながらがんばって植えました。畑を管理してくださるのは、4年生もお世話になっている中間敦司さんです。地域の方のおかげで、充実した学習ができていることに感謝しています。



地域から学ぶ(2) 4年生 大豆栽培

毎年4年生は、総合的な学習の時間を使って「大豆」についての学習をしています。6月11日(木)は、この学習のスタートとして、大豆の種類や種の蒔き方や収穫までの作業などについて教えてもらいました。講師は毎年この学習でお世話になっている中間敦司さんで、1年生のイモ苗植えでもお世話いただいています。



教室での学習が終わったら、畑に移動して「種まき」をしました。今年度は手蒔きではなく、専用の機械「種まきごんべえ」を使って蒔きました。種を入れて機械を押すだけで、畝をつくりながら真っすぐ蒔くことができ、子どもたちは驚いていました。

斐川地区は、大豆の栽培が盛んで、大規模な畑を使って栽培をしておられる農家があります。この学習を深めながら「地域の良さを自分の言葉で語れる子ども」の育成に取り組んでいきます。

進んで学ぶ子

「学力向上」学校訪問がありました

6月19日(金)は、出雲市教育委員会学力向上推進係指導員の学校訪問がありました。各学級の授業を参観していただき、その後で本校の学力向上策に対する指導を受けました。指導員の方からは「全体的に落ち着いて学習に取り組む雰囲気が出ています」

「先生たちの表情が柔らかく、子どもと良い関係が築けている」「先生の指示をきちんと聞いてから次の課題に取り組むことができている」「先生の板書がきれいにまとめられているので、子どももきちんとノートをとることができている」など、肯定的な評価をたくさんいただきました。また、本年度本校が取り組んでいる図書活用教育については、「これからの時代は情報活用能力が大切になるので、引き続き取組を継続してほしい」「本を通



して人間関係づくりを行う“トークタイム”は、他の学校の参考になるので、実践を深めてほしい」とアドバイスをいただきました（※“トークタイム”については、別号でお伝えします）。

元気な子

プール掃除をしました

6月12日（金）に5・6年生がプール掃除をしました。例年通り、今年度も子どもたちの手でプール掃除をしました。暑い中での掃除でしたが、みんな一生懸命に床や壁をたわしで擦っていました。自分たちが使うプールを自分たちで掃除することは、とても大切なことだと思います。

水泳の授業は今週から始めます。水に慣れてしっかり泳ぎ、泳力をつけてほしいと思います。



スマホや SNS と正しく向き合うために ―ご家庭でのルール作りと見守りのお願い―

近年、ニュース等でも大きく報道されているように、全国的に小中学生のスマホや SNS を巡るトラブルが急増しています。これは決して他人事ではなく、いつ本校の子どもたちの身に起きてもおかしくない、極めて身近な課題です。

具体的には、無料通信アプリ（LINE など）のグループ内での誹謗中傷や、特定の友達をグループから外すといった、大人の目に見えにくい形での「仲間外し」やいじめが全国の学校で報告されています。これらは、子どもの心を深く傷つける深刻な問題へと発展しかねません。



学校でも、外部から専門の講師をお招きして情報モラルに関する授業を行うなど、正しい使い方や危険性についての指導を継続して行っています。しかしながら、学校でできることには限界があるのが現状です。なぜなら、学校が一步踏み込んで指導したとしても、実際に子どもたちがスマホを手にし、ネットの世界へと繋がるのは「家庭にいる時間」だからです。

スマホやタブレットといった便利な道具は、子どもたちの世界を広げる一方で、一步間違えれば危険な存在にもなり得ます。買い与えられたのが保護者の皆様であるからこそ、その使い方を見守り、責任を持って管理していただくことが何よりも重要です。

ただ、急激に進化するデジタル社会の中で、ご家庭だけで完璧に管理することがいかに難しいかも、私たちは重々承知しております。だからこそ、学校とご家庭がしっかりと手を取り合い、共通の危機感を持って子どもたちを導いていく必要があると考えています。

例えば、ネットリテラシー（インターネット等を正しく、効果的に活用する能力）に関する情報などは、学校からも積極的に発信していきたいですし、各ご家庭では「我が家の利用ルール（時間や場所）」を今一度見直すこと「お子様のスマートフォンの利用状況を定期的に確認すること」などは、すぐにでも行っていただきたいと思います。

ぜひ、この機会にお子様とスマホの使い方についてじっくり話し合ってみてください。子どもたちが安全に、そして心豊かに成長できるよう、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お子様や学校のことでお困りのこと、ご心配なことがありましたら、担任まで遠慮なくご相談ください。

また、担任以外にも下記の職員を相談窓口としております。

- ・小川恵美（教頭）
- ・勝部修治（不登校・いじめ対応 CN）
- ・石倉綾美（養護教諭）
- ・金築裕司（特別支援教育 CN）
- ・三島真弓（スクールカウンセラー）
- ・太田桂子（スクールソーシャルワーカー）